

本会・他学会水環境関連行事一覧

開催期日	行事	開催地	案内記事 掲載巻号
2025年			
7月 21日(月)～25日(金)	第20回世界湖沼会議(WLC20) 湖沼の声：統合的流域管理をめざして	オーストラリア	48巻 4号
25日(金), 26日(土)	第47回京都大学環境衛生工学研究会シンポジウム	京都	本号
8月 26日(火)	第34回市民セミナー 「皆のチカラで推進する水環境プロジェクト」	オンライン	本号
27日(水), 28日(木)	第38回におい・かおり環境学会	福岡	本号
9月 2日(火)～4日(木)	第20回人工湿地ワークショップ2025 in 富良野 ～人工湿地技術の最前線～	北海道	本号
10日(水)～12日(金)	12 th IWA Symposium on Waste Management Problems in Agro-Industries AGRO'2025	トルコ	本号
17日(水)～19日(金)	第28回日本水環境学会シンポジウム	富山	本号
29日(月)～ 10月3日(金)	10 th IWA-ASPIRE Conference	ニュージーランド	本号
12月 12日(金)	第63回高分子と水に関する討論会	東京	本号
2026年			
3月 9日(月)～11日(水)	第60回日本水環境学会年会	東京	
7月 11日(土)～12日(日)	WET2026 (Water and Environment Technology Conference 2026)	京都	

会員登録データ変更の届け出について（お願い）

住所、所属変更等、本会に登録されているデータに変更のあった場合には、ホームページの会員専用ページ（<https://www.jswe.or.jp/member/>）よりご登録の変更をお願い申し上げます。メールアドレスの登録がない方、登録アドレスを忘れた方は、メール（member@jswe.or.jp（@は半角））またはFaxにてお問い合わせください。お電話での変更のご連絡は受け付けません。会員は年度毎（4月→3月）の扱いで、退会のお手続きがない場合には、自動的に会員登録が継続となります。なお、学生会員は年度ごとの資格ですので、2024年度の学生会員は2025年3月末日に失効になりました。

また2013年度より特別正会員制度も新設されています。この制度は、満65歳以上で、水環境関連分野に従事、または関心を有し、本会に対し功労のあった個人を対象とするもので、学会コミュニティにおいて、継続的に知識や経験を活かした活動に取り組んでいただくために設けられたものです。資格要件など詳細は本会WEBサイト（<http://www.jswe.or.jp/joining/index.html>）をご覧ください。

本会関連行事

第28回 日本水環境学会シンポジウム 参加申し込み案内

第28回日本水環境学会シンポジウムは、下記の要領により、富山県立大学射水キャンパスで開催いたします。

各研究委員会のセッションのほか、特別講演、メタウォーター賞受賞者講演、大学院博士後期課程の研究奨励を目的とした若手研究紹介（オルガノ）セッション、懇親会、テクニカルツアーなど、多彩な企画が用意されています。

多数の皆様のご参加をお願い申し上げます。

1. 概要

期 日：2025 年 9 月 17 日（水）～19 日（金）

（19 日（金）はテクニカルツアー）

会 場：富山県立大学射水キャンパス（対面形式で開催）

内 容：各研究委員会の主催によるセッション、特別講演、メタウォーター賞受賞者講演、若手研究紹介（オルガノ）セッション、懇親会、テクニカルツアーほか。

後 援：富山県立大学

講演集形式：ダウンロード版および冊子版として提供します。冊子をご希望の場合は、冊子版有の参加費となります。

※Wi-Fi の提供はございません。ご自身でご用意をお願いします。

2. 内容

若手研究紹介（オルガノ）セッション（発表審査）

17 日（水）午前

年間優秀論文賞（メタウォーター賞）受賞者講演

17 日（水）17:10～17:50

特別講演 「富山県・富山湾の水環境」

18 日（木）午前（参加無料・申込不要）

表彰式・懇親会（会場：富山県立大学 射水キャンパス食堂）

17 日（水）18:00～19:30 予定

テクニカルツアー

富岩運河水上クルーズ、廻船問屋見学、日本酒セルフ啗酒等で港町の歴史と水を楽しむ半日ツアーを予定しております。詳細は WEB ページをご覧ください。

日 時 2025 年 9 月 19 日（金）

研究委員会セッション

各研究委員会のセッションにつきましては、別表をご覧ください。セッションの詳細については、各研究委員会までお問い合わせください。

17 日（水）午前（9:00～12:30）／午後（13:30～17:00）

18 日（木）午前（9:00～12:30）／午後（13:30～17:00）

3. 参加申し込み案内

混雑緩和のため事前の参加登録（申し込みと入金）にご協力ください。研究発表を申し込まれた方は、必ず参

加登録が必要です。

(1) シンポジウム参加費および懇親会参加費

		予約	当日
(冊子版なし)	正 会 員（不課税）	4,500円	7,000円
	学生会員（不課税）	2,000円	4,000円
	非 会 員 一般	17,500円	20,000円
	(課税, 税込み) 学生	7,000円	9,000円
(冊子版有)	正 会 員（不課税）	7,500円	10,000円
	学生会員（不課税）	5,000円	7,000円
	非 会 員 一般	20,500円	23,000円
	(課税, 税込み) 学生	10,000円	12,000円
懇親会参加費（課税, 税込み）		4,000円	5,000円

*1 参加者に同伴して懇親会に参加する家族（小学生以下）は無料

*2 冊子版有の参加費につきましては、制作費高騰のため、値上げしております。

キャンセルポリシーについてはhttps://www.jswe.or.jp/pdf/JSWE_cancellation_policy.pdfをご覧ください。

(2) 予約申込方法と期限

下記の WEB ページにある「シンポジウム 参加申込」からお申し込みください。申込期限は 8 月 21 日（木）23 時 59 分です。また、参加費は 8 月 29 日（金）までに指定口座に振り込んでください。ご入金が確認できない場合は、予約申込みがキャンセルとなります。当日会場にて参加申込を行ってください。

お振込後、入金を確認できるまで銀行振込で 1～3 日、郵便振替（ゆうちょ銀行への振込を含む）で 2～8 日かかることがありますので、余裕をもってご送金ください。

<https://www.jswe.or.jp/event/symposium/>

WEB からの申し込みができない方は、下記の連絡・問い合わせ先にご連絡ください。

(3) 振込先

振込人名義に申込番号も記載してください。名義が異なる場合や申込番号が記載できない場合は、必ず別途ご連絡をお願いします。

※参加申込を行ってから、支払いを完了してください。

振込先銀行：三菱 UFJ 銀行市ヶ谷支店

普通預金 口座番号：4948527

名義：シャ）ニホンミズカンキョウガッカイ

郵便振替※：00180-5-564127

加入者名：（公社）日本水環境学会

※通信欄に申込番号を記載してください。

(4) 参加証／講演集引換券の送付

ご入金を確認後メールにてお知らせします。領収書は振替・振込の受領証等をもって代えさせていただきます。別途、事前に学会名での領収書をご希望の場合は、下記の連絡・問い合わせ先まで必要事項を記入の上、ご連絡ください。

第 28 回日本水環境学会シンポジウム 別表

研究委員会名	セッションタイトル	開催日	連絡先
嫌気性微生物処理	嫌気性微生物処理研究の軌跡と未来への挑戦	17日 AM	日高 平 (京都大学) hidaka.taira.4e@kyoto-u.ac.jp
MS 技術	環境汚染物質の探索と実態把握	17日 AM	松村千里 (兵庫県環境研究センター) matsumura-c@hies-hyogo.jp
生物膜法	環境再生保全のための生物生態工学システムの高度化・資源循環・温暖化対策等による流域管理	18日 PM	稲森悠平 (NPO 法人バイオエコ技術研究所) inamori514@gmail.com
身近な生活環境	人口減少・災害時代における水インフラー私たちの現在地と課題ー	18日 AM	柿本貴志 (埼玉県環境科学国際センター) kakimotonrk@gmail.com
微生物生態と水環境工学	Standing on the shoulders of giants: 微生物生態と水環境工学研究の歩みと未来	18日 PM	押木 守 (北海道大学) oshiki@eng.hokudai.ac.jp
バイオアッセイによる安全性評価	New Approach Methods (NAMs) の理解と適切な利用に向けて	17日 PM	新野竜大 (三菱ケミカル(株)) tatsuhiko.niino.mp@mcgc.com
水中の健康関連微生物	災害・事故時における健康関連微生物への対応を考える	17日 PM	原本英司 (山梨大学) eharamoto@yamanashi.ac.jp
湿地・沿岸域	湿地・沿岸域研究の最前線と北陸沿岸域のいま	18日 AM	藤林 恵 (九州大学) m.fujibayashi@civil.kyushu-u.ac.jp
流域物質動態	流域物質動態モデリングの最新動向	17日 PM	櫻井伸治 (大阪公立大学大学院) sakurai@omu.ac.jp
膜を利用した水処理技術	安全安心な水循環と膜～はたらく細孔～	18日 PM	大和信大 (メタウォーター(株)) yamato-nobuhiro@metawater.co.jp
紫外線を利用した水処理技術	促進酸化処理の鍵となる紫外線ーその最適な活用法とは？	17日 PM	中村知克 ((株)日本フォトサイエンス) tnakamura@npsuv.co.jp
産業排水の処理・回収技術	産業排水の処理・回収分野における新たな課題と技術動向	17日 PM	小松和也 (栗田工業(株)) k.komatsu51@kurita-water.com
電気化学的技術	環境エンジニアリングにおける電気化学的技術	17日 PM	小森正人 ((株)ヤマト 大和環境技術研究所) Komori_Masahito@yamato-se.co.jp
熱帯・亜熱帯地域水環境	熱帯亜熱帯地域の水圏環境研究の役割と可能性	18日 PM	宮城俊彦 ((元)沖縄県衛生環境研究所) miyagto571123@yahoo.co.jp
農産業に関わる水・バイオマス循環技術	水・バイオマス分野と農業等の関わり	18日 PM	森田真由美 (月島 JFE アクアソリューション(株)) mayumi_morita@tjas.co.jp
汽水域	集水域の変化と汽水域	17日 AM	山室真澄 (東京大学) yamamuro@edu.k.u-tokyo.ac.jp
地域水環境行政	地域からの発信～多様な視点で読み解く水環境～	17日 PM	石井裕一 (東京都環境科学研究所) ishii-y@tokyokankyo.jp, sympto@jswe-local.org
マイクロプラスチック	産官学によるプラスチック問題対策と取り組み現況	18日 PM	鈴木裕識 (岐阜大学) suzuki.yuji.p3@f.gifu-u.ac.jp

(5) 現地受付用の QR コード

期限内に参加登録・入金がお済みの参加者には、現地受付用の QR コードを事前にお送りする予定です。

4. 託児施設

託児施設を開設する予定です。ご利用を検討される方は、8月28日(木)までに takuji@jswe.or.jp (@を半角)までご連絡ください。

5. ホテルと交通手段について

宿泊施設の案内・斡旋等はいませんので、各自で手配してください。

6. 連絡・問い合わせ先

公益社団法人 日本水環境学会 シンポジウム係
東京都江東区常盤 2-9-7
グリーンプラザ深川常盤 201 号
Tel: 03-3632-5351 Fax: 03-3632-5352
E-mail: nenkai@jswe.or.jp (@を半角)

第34回 日本水環境学会市民セミナー
「皆のチカラで推進する水環境プロジェクト」

本会では、年に1回、市民セミナーを開催しており、水環境に関する身近な話題を取り上げ、その分野の専門家を招いてわかりやすく説明していただいております。今年は、水環境分野の協働プロジェクトに焦点を当て、産学官連携や市民科学の可能性についてご紹介いたします。皆様、お誘い合わせの上、ご参加いただければ幸いです。

主 催 日本水環境学会
後 援 全国環境協議会
日 時 2025年8月26日(火) 13:00~17:00
(ZOOM オンライン)
参加費 会員(個人・団体)、非会員1,000円(税込)、大学生以下無料
動画配信 参加申込者を対象に期間限定でオンデマンド配信予定

プログラム

13:00~13:10 開会挨拶

13:10~14:00

第1席「水田農業と水環境」

京都大学大学院農学研究科 准教授 濱 武英

14:10~15:00

第2席「ビストロ下水道で目指す地域の循環共生圏」

山形大学農学部食料生命環境学科 教授 渡部 徹

15:00~15:10 休憩

15:10~16:00

第3席「下水処理水を活用した酒米栽培～酔思源(すいしげん)プロジェクトの歩み～」

秋田工業高等専門学校創造システム工学科 教授 増田周平

16:00~16:50

第4席「シチズンサイエンスー市民との協働による科学の勧め～」

福井県立大学生物資源学部創造農学科 助教

牧野奏佳香

16:50~17:00 閉会挨拶

事前参加申込のみ(当日参加はできません)

申し込み開始 2025年7月上旬

申し込み・入金締め切り 2025年8月19日(火) 厳守

参加申込方法

下記の登録方法にて8月19日(火)までにお申し込みください。右 QR コードまたは下記 URL の登録フォームからお申し込みください。

登録フォーム URL

<https://forms.gle/zFMdLxhPh2yEzzu57>

参加費振込先

三菱 UFJ 銀行 市ヶ谷支店(普通) 0754950

(公社) 日本水環境学会セミナー口

シャ) ニホンミズカンキョウガツカイセミナーグチ

セミナー参加証明書の発行について

継続技術者教育(CPD)の観点から、要望に基づきセミナー参加証明書を発行します。参加証明書の発行(PDF・後日メール送信)を希望される方は参加申込みの際にその旨を申し出てください。

申し込み・問い合わせ先

(公社) 日本水環境学会 事務局セミナー係

Tel: 03-3632-5351 E-mail: seminar_info@jswe.or.jp

第20回 人工湿地ワークショップ2025 in 富良野
～人工湿地技術の最前線～

主 催 日本水環境学会東北支部人工湿地研究会

期 日 2025年9月2日(火)～4日(木)

場 所 発表会: 富良野市布礼別小学校

見学会: 富良野市内

オプションツアー: ニセコ町内

スケジュール(予定)

- 9月2日 現地見学会(3ヵ所の人工湿地を見学)
 - 12時 新千歳空港集合・レンタカー(相乗)で現地へ
 - 14時30分~16時30分 見学会
 - 17時30分 宿泊地(森のゆホテル花神楽)へ移動
 - 18時30分 交流会 BBQ(森のゆホテル花神楽)
- 9月3日 事例研究発表会(富良野市布礼別小学校)
 - 9時 レンタカー(相乗)で現地へ
 - 10時 受付開始
 - 10時30分~12時 事例研究発表会(前半)
 - 13時30分~16時 事例研究発表会(後半)
 - 16時30分 レンタカー(相乗)で札幌へ
- 9月4日 オプションツアー(ニセコ別荘地の人工湿地を見学)
 - 10時 札幌駅集合・レンタカー(相乗)で現地へ

13時～14時30分 見学会
15時 現地出発 レンタカー（相乗）で札幌へ
17時 札幌駅解散

申込方法

事例研究発表会での発表をご希望の方は8月18日（月）までに、参加をご希望の方は8月22日（金）までにE-mailにて下記項目を記載の上、お申し込みください。

①参加者名 ②参加者の所属 ③連絡先（E-mail, 携帯電話番号）④研究発表会、現地見学会（9月2日）、9月2日の宿泊（先着29名、交流会費・宿泊費込み15,000円）、オプションツアー（9月4日）それぞれの申し込みの有無 ⑤事例研究発表の有無、発表題目、発表者名 ⑥その他要望、連絡事項など

参加費 会員 10,000円、学生 5,000円、非会員 15,000円（当日に徴収いたします）

詳細 URL <https://jswetohoku.jp/>

申込・問い合わせ先

日本大学工学部 中野和典
E-mail: nakano.kazunori@nihon-uac.jp
Tel: 024-956-8719

IWA 関連行事

12th IWA Symposium on Waste Management Problems in Agro-Industries AGRO'2025 （第12回 IWA 国際シンポジウム： 農産業における廃棄物管理問題－AGRO'2025）

主催 IWA
期日 2025年9月10日（水）～12日（金）
場所 トルコ・イスタンブール
詳しくは下記 URL をご参照ください。
詳細 URL <https://agro2025.itu.edu.tr/>
問い合わせ先
岡山大学・永禮英明
E-mail: nagare-h@okayama-u.ac.jp

10th IWA-ASPIRE Conference

期日：2025年9月29日（月）～10月3日（金）
場所：クライストチャーチ、ニュージーランド
詳細 URL： <https://www.iwaaspire2025.org/>

他学会関連行事

第47回 京都大学環境衛生工学研究会シンポジウム

主催 京都大学環境衛生工学研究会ほか
期日 2025年7月25日（金）～26日（土）
場所 京都大学吉田キャンパス
プログラム
7月25日

セッション1：水道／セッション2：廃棄物／特別セッション：環境衛生工学からPFAS問題を考える／ポスターセッション

7月26日

セッション3：地球環境・大気汚染・窒素循環／セッション4：水道・有機フッ素化合物／セッション5：環境汚染物質・環境管理／セッション6：脱炭素／国際セッション

それ以外は以下詳細 URL をご参照ください

申し込み方法 当日会場で受け付けます

参加費 会員 2,000円、非会員 3,000円

詳細 URL <http://www.env.kyoto-u.ac.jp/kyoeiken/>

問い合わせ先

京都大学環境衛生工学研究会
〒615-8540 京都市西京区京都大学桂Cクラスター
E-mail: symposium@env.kyoto-u.ac.jp

第38回 におい・かおり環境学会

主催 第38回におい・かおり環境学会
期日 2025年8月27日（水）、28日（木）
場所 福岡女子大学（福岡市東区香住ヶ丘1-1-1）
詳細 URL <https://orea.or.jp/gakkai-katsudou/gakkai/>
問い合わせ先
公益社団法人におい・かおり環境協会
〒160-0008 東京都新宿区四谷三栄町6-6
四谷MSビル4F
Tel: 03-6233-9011 Fax: 03-6862-8854
E-mail: info@orea.or.jp

第63回 高分子と水に関する討論会

主催 高分子学会 高分子と水・分離に関する研究会
協賛 日本水環境学会
期日 2025年12月12日（金）
場所 東京都市大学世田谷キャンパス
（世田谷区玉堤1-28-1）

プログラム

それ以外は以下詳細 URL をご参照ください

<https://member.spsj.or.jp/event/>

申し込み方法

<https://member.spsj.or.jp/event/> の「第63回高分子と水に関する討論会（発表募集）」よりお申し込みください。

①希望発表形式 ②研究発表題目 ③発表者・共同研究者の情報（氏名・所属）④連絡者情報（氏名・所属・住所・電話・E-mail）を入力していただきます。採否およびプログラム編成は運営委員会にご一任ください。

参加申込締切 発表申込締切 9月30日（火）

参加費 企業・大学・官公庁 4,400円、学生 2,200円

詳細 URL <https://member.spsj.or.jp/event/>

問い合わせ先

公益社団法人高分子学会

〒104-0042 東京都中央区入船3-10-9 新富町ビル 6F

Tel : 03-5540-3770 Fax : 03-55403 ⑦ 37

E-mail : sugimoto@spsj.or.jp

お知らせ

2025年度「水環境文化賞」の推薦募集について

水環境文化賞は水環境の保全・創造に関する社会文化活動が顕著である団体あるいは個人に贈られます。自薦、他薦は問いません。詳細は以下、学会事務局にお問い合わせください。受賞者は2026年3月の日本水環境学会第60回年会にて表彰予定です。たくさんのご応募をお待ちしています。

被推薦資格 水環境の保全・創造に関する社会文化活動に積極的に取り組んでいる団体あるいは個人。本会の会員／非会員は問いません。

応募方法 学会ホームページより応募用紙をダウンロードし、以下1)～6)の必要事項を記入の上、7)活動を示す資料とあわせて以下の提出先に送付ください。以下のE-mailへの電子ファイルでの提出をお願いします。電子ファイルとすることが困難な場合はご相談ください。なお、評価ポイントは学会ホームページでご覧になれます。

- 1) 被推薦団体名或いは被推薦者氏名、連絡先住所、電話番号、E-mail アドレス
- 2) 活動概要 (300 字以内)
- 3) 対象とする社会文化活動
- 4) 広報活動など (200 字以内)
- 5) 推薦者の推薦理由 (500 字程度)
- 6) 推薦者の氏名、所属、住所、電話番号、E-mail アドレス (自薦も可)
- 7) 活動を示す資料 (複数でも可。ただし、電子ファイル合計 40 ページ以内)

提出期限 2025 年 9 月 18 日 (木) (必着) 昨年度から、締め切りを 2 週間ほど早くしているのでご注意ください。

提出・問い合わせ先 (学会事務局)

(公社) 日本水環境学会「水環境文化賞」係

〒135-0006 東京都江東区常盤 2-9-7

グリーンプラザ深川常盤 201 号

Tel : 03-3632-5351 Fax : 03-3632-5352

E-mail : award@jswe.or.jp

2025年度「水環境文化賞児童・生徒の部 (みじん子賞)」の推薦募集について

水環境文化賞児童・生徒の部 (みじん子賞) は地域の水環境保全・創出に貢献した小・中・高校生のグループに贈られます。例年、年会開催予定地の地区から選出され、本年度は関東支部エリア (茨城県・栃木県・群馬県・

埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・新潟県・山梨県・長野県) が対象となります。自薦、他薦は問いません。詳細は以下、学会事務局にお問い合わせください。受賞者は2026年3月の日本水環境学会第60回年会にて表彰予定です。たくさんのご応募をお待ちしています。

被推薦資格 地域の水環境保全・創出に努力している小学生、中学生もしくは高校生のグループ等。本会の会員／非会員は問いません。

応募方法 学会ホームページより応募用紙をダウンロードし、以下1)～6)の必要事項を記入の上、7)活動を示す資料とあわせて以下の提出先に送付ください。以下のE-mailへの電子ファイルでの提出をお願いします。電子ファイルとすることが困難な場合はご相談ください。なお、評価ポイントは学会ホームページでご覧になれます。

- 1) 被推薦団体名或いは被推薦者氏名、連絡先住所、電話番号、E-mail アドレス
- 2) 活動概要 (300 字以内)
- 3) 対象とする社会文化活動
- 4) 広報活動など (200 字以内)
- 5) 推薦者の推薦理由 (500 字程度)
- 6) 推薦者の氏名、所属、住所、電話番号、E-mail アドレス (自薦も可)
- 7) 活動を示す資料 (複数でも可。ただし、電子ファイル合計 40 ページ以内)

提出期限 2025 年 9 月 18 日 (木) (必着) 昨年度から、締め切りを 2 週間ほど早くしているのでご注意ください。

提出・問い合わせ先 (学会事務局)

(公社) 日本水環境学会「水環境文化賞」係

〒135-0006 東京都江東区常盤 2-9-7

グリーンプラザ深川常盤 201 号

Tel : 03-3632-5351 Fax : 03-3632-5352

E-mail : arawd@jswe.or.jp

第20回 日本水環境学会関西支部 関西水環境賞、奨励賞、社会・文化賞 推薦のお願い

日本水環境学会関西支部では、下記の賞を設け、水環境に関する優れた成果や貢献、活動等を表彰します。適切な候補者・団体等をご推薦ください。

関西水環境賞

水環境研究、水環境技術の開発、あるいは水環境の保全・創造に係る実務に関して、優れた成果や顕著な貢献をなしたと認められる支部個人正会員、または団体正会員およびこれに所属する個人に授与。

1. 応募方法・資格：自薦または他薦、年齢等制限なし。
2. 応募書類：以下の書類を提出ください。

a. 推薦書：関西支部ホームページ

(<http://www.jswe-kansai.com/>) より所定の推薦書様式をダウンロードし、水環境に関する研究 (様式 A)、

水環境技術の開発（様式B）、水環境の創造保全に関する実務（様式C）の中から該当する業績を1つ選択し、必要事項を記入。

b. 関連資料：論文、総説、ノート、報告、発表要旨、雑誌、書籍、特許、カタログ等

3. 提出方法：推薦書と関連資料は原則PDF化し、元のデータと共に関西支部ホームページ内の応募フォームにて提出。

4. 締め切り：2025年8月29日（金）＜必着＞

奨励賞

水環境研究、水環境技術の開発、あるいは水環境の保全・創造に係る実務に関して、独創的・特徴的な成果や貢献を有し、将来を期待される当該年度4月1日の時点で45歳以下の支部個人正会員、または団体正会員に所属する個人に授与。

1. 応募方法・資格：原則他薦、2025年4月1日時点で45歳以下。

2. 応募書類・提出方法・締め切り・提出先：関西水環境賞と同じ。

3. 受付後、被推薦者には別途調書を提出していただきます。

社会・文化賞

関西地域で水環境の保全・創造に関する社会・文化活動が顕著な団体または個人に授与。

1. 応募方法・資格：自薦または他薦、年齢等制限なし。当学会の会員・非会員を問わない。

2. 応募書類：以下の書類を提出ください。

a. 推薦書：関西水環境賞と同じ。

b. 関連資料：対象の社会・文化活動がわかる資料等

3. 提出方法：関西水環境賞と同じ。

4. 締め切り：2025年8月29日（金）＜必着＞

受賞講演と水環境文化賞への推薦について

各受賞者には関西支部総会（本年12月上旬～中旬を予定）において受賞講演をお願いいたします。また、社会・文化賞に推薦された団体は、当学会の水環境文化賞に支部から推薦させていただく場合があります。

詳細URL・問い合わせ先

<http://www.jswe-kansai.com>

第44巻(A)11号(2021)特集企画編 「COVID-19タスクフォースの活動成果と 産学官での社会実装に向けた動き」 別刷配布のお知らせ

この度、第44巻(A)11号(2021)の特集企画編「COVID-19タスクフォースの活動成果と産学官での社会実装に向けた動き」の別刷を作成しました。当該企画の趣旨を踏まえて、さらに広くご活用いただくために、教育・公益的な目的でのご利用を希望する方へ別刷を無償配布いたします。

別刷をご希望の方は①会員番号（非会員の方は非会員とご記入ください）②所属 ③氏名 ④送付先住所 ⑤使用目的（具体的に）⑥希望部数を明記のうえ、日本水環境学会事務局まで電子メール（kikaku@jswe.or.jp（@は半角））にてお申込みください。先着順に受け付けます。なお、今後PDF版の公開も予定しています。詳細が決まり次第、ホームページ等でお知らせしますので、ご確認ください。

会員は、特集企画編「COVID-19タスクフォース設立と水環境分野におけるコロナ禍対策」（第43巻(A)12号(2020)特集）、「地環研の躍動」（第43巻(A)2号(2020)特集）、「水環境分野で働く若手たち」（第41巻(A)3号(2018)特集）、「水環境分野で働く女性たち」（第36巻(A)10号(2013)特集）にも残部（若干数）がありますので、ご希望があればご連絡ください。

りそなアジア・オセアニア財団 2026年度 アジア・オセアニア研究助成

A. 調査研究助成 アジア・オセアニア諸国・地域に関する社会・文化・歴史・政治・経済等の人文・社会科学分野の調査・研究活動へ助成します。（若手研究者育成を目的としたプログラム）

B. 国際学術交流助成 アジア・オセアニア諸国・地域に関する社会・文化・歴史・政治・経済等に関する国際会議・シンポジウムの開催を支援します。

C. 出版助成 アジア・オセアニア諸国・地域に関する社会・文化・歴史・政治・経済等の調査研究成果にかかる出版物の刊行を支援します。

応募要項 詳細URLをご覧ください。

詳細URL <https://www.resona-ao.or.jp/>

応募期間 2025年5月19日（月）～7月31日（木）必着
問い合わせ先 公益財団法人りそなアジア・オセアニア財団

E-mail: info@resona-ao.or.jp

りそなアジア・オセアニア財団 2026年度 りそな環境助成

A. 若手枠 アジア・オセアニア地域において、現地活動者と協働して現地の環境問題に取り組む実践活動および啓発活動。ただし、現地において自立的かつ持続的な活動への展開が見込めるものとする。

B. 一般枠 アジア・オセアニア地域において、現地活動者と協働して現地の環境問題に取り組む実践活動および啓発活動。ただし、現地において自立的かつ持続的な活動への展開が見込めるものとする。

C. 普及枠 りそな環境助成を受けて成果を挙げた事業における他地域への普及活動や広報活動。

応募要項 詳細URLをご確認ください。

詳細URL <https://www.resona-ao.or.jp/>

応募期間 2025年5月19日（月）～8月29日（金）必着

問い合わせ先 公益財団法人りそなアジア・オセアニア財団
E-mail : info@resona-ao.or.jp

公益信託下水道振興基金
2025年度 下水道の防災・減災、強靱化と活用に関する研究等助成の募集

募集期間 2025年8月29日(金) 必着
応募資格 下記 HP 募集要項をご参照ください。
助成件数 応募状況を勘案して決定します。
助成金額 総額 1,000 万円程度
応募方法 所定の申請書を日本下水道協会 HP より取得し、記入捺印のうえ募集要項記載の申請書送付先へご郵送ください。
決定期間 2025年9月～10月を目安
詳細 URL <https://www.jswa.jp/fund/>

問い合わせ先

〈調査研究や課題、研修視察調査等の内容について〉

〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-10-12

内神田すいすいビル

公益社団法人日本下水道協会 総務課

Tel : 03-6206-0260 E-mail : soumu@ngsk.or.jp

〈申請一般および助成金の使途について／申請書の送付〉

〒100-8241 東京都千代田区丸の内 1-3-3

みずほ信託銀行 信託ソリューション第一部

Tel : 03-6631-7773

JST「STI for SDGs」アワード募集のお知らせ

科学技術振興機構（JST）では、科学技術・イノベーションを用いて社会課題を解決する取り組みを対象とした「STI for SDGs」アワードの2025年度の募集を行っています。

応募に関する詳細は、下記 URL をご参照ください。

【詳細情報】

<https://www.jst.go.jp/ristex/sdgs-award/index.html>

問い合わせ先

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）社会技術研究開発センター（RISTEX）「STI for SDGs」アワード事務局

E-mail : sdgs-award@jst.go.jp

本冊子は「特集企画編」です。「原著論文編」は、国立研究開発法人科学技術振興機構「科学技術情報発信・流通システム（J-STAGE）」に掲載しています。<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jswe/-char/ja/>